

# 第13期 事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日)

## I 事業報告

### 1 平成24年度 事業経過及び概況

平成23年3月11日、1000年に1度ともいわれる未曾有の東日本大震災に見舞われ、1日でも早い復旧復興を願いながらも、しっかりとした見通しも立たない中でスタートした平成24年度ではありましたが、5月には石ノ森萬画館復旧工事の発注がなされ、6月にはそれぞれの工事が着工いたしました。

その間「販促事業部」では、グッズショップ墨汁一滴のインターネット販売やパネル展と合わせた出張販売に力を入れました。シージェッター海斗ショーをはじめ、各地で開催されるイベントへの参加も顕著に増え、県内外へ出かけ、PRと事業としての確立がされつつあります。

「街づくり事業部」では、平成23年12月に設立された「コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会」の活動を活発化させてまいりました。「街並み部会」では「デザインコード」の集約から「街なか復興ビジョン」の作成をいたしました。また「事業推進部会」では先行する中央三丁目や立町二丁目続く各街区での協議会や組合の設立・協議の推進や、講演会・勉強会を開催してまいりました。「ライフスタイルブランド化部会」においては、「プチ市民構想」から発展させ、「巻.comプロジェクト」の立ち上げ、事業化をし、支援をするに至りました。

「街なか復興マルシェ」も被災地ツアー等各種団体の受け入れや、「手作り市」等の多くのイベントを企画し集客数を伸ばしております。街中にぎわい創出事業として実施されてきた「石巻マンガ灯ろう祭り」や「トリコローレ音楽祭」等のイベントも定着してきており、街のにぎわいに貢献をしています。

「石ノ森萬画館運営事業部」は、11月のオープンに向けて修復工事がスタートするため、その直前のGWに「萬画館探検隊」を企画し、その後のイベントに繋いできました。7月からは石巻市より「石ノ森萬画館開設準備業務」を委託され、いよいよ、リ・オープン、リニューアルオープンへと準備を進めてまいりました。

10月からはスタッフも随時戻しながら、その体制づくりとトレーニングを行ってまいりました。11月17日、リ・オープン当日は、多くの御来賓と来館者を迎え、待ちに待った「萬画館」のオープンにふさわしい賑やかなセレモニーが実施されました。本年2月12日～3月22日の休館を経て、3月23日いよいよリニューアルオープンすることができました。この日は、トークショーや海斗ショー、アニソンライブやマンガタンライナーの出発式等盛りだくさんで本当に楽しいオープンとなりました。

最後に、皆様の多大な御支援に心より感謝申し上げます、事業報告といたします。

## 2 各事業の概況

### 【販促事業部】

#### (1) グッズショップ 墨汁一滴

- ・ 萬画館が再開するまでの間、徐々に商品を増やし、全国各地で開催されたイベントや外販店舗で商品を販売した。復興支援の動きもあり、売上は順調に推移し、被災前と比較して3倍以上の売上になる店舗もあった。
- ・ 11月の萬画館再開に向けて、新商品開発やオープン記念の限定グッズを企画し、売上増加と話題作りに努めた。
- ・ 雑誌やインターネット等から常に新しい情報を収集し、希少性の高い商品を仕入れて販売した。これにより「通常ではなかなか手に入らないものが萬画館では手に入る」というイメージがファンの間で広まり、売上の増加にもつながった。
- ・ 平成24年度は、店頭販売、通信販売、外販をあわせて58,888,249円の売上だった。

#### (2) 喫茶 ブルーゾーン

- ・ 萬画館が再開するまでの間、調理器具や設備のメンテナンス、新メニューの考案・試作、仕入先の開拓を行った。
- ・ 喫茶スタッフが全員入れ替わったことから11月の萬画館再開時への不安はあったものの、無事に乗り越えることができ、売上も好調だった。
- ・ 3月のリニューアルオープン時には企画展「シージェッター海斗展」との連動メニューを実施したところ好評を得、同時に売上も大きく伸びた。
- ・ 平成24年度の売上高は3,562,190円だった。

#### (3) 海斗プロジェクト

- ・ 全国版のホビー雑誌「ハイパーホビー」(徳間書店)にて平成22年11月1日発売号よりマンガを連載し、昨年3月にコミック第1巻が発行された。平成24年度も継続して連載し、ファンの拡大に努めた。平成25年度には第2巻の発行を予定している。
- ・ 県内はもとより全国各地で開催されたイベントに出演。海斗ショーや握手撮影会を行い、石巻のPR活動と売上確保に努めた。ショー、握手撮影会をあわせてのべ34会場で行った。
- ・ 新怪人の着ぐるみを制作し、併せてシナリオも新しいものを制作した。昨今では全国的にローカルヒーローショーがブームを呼んでいるが、とりわけ海斗は”本格派ヒーロー”として高い評価を得ている。
- ・ 石森プロ様、東映様の全面協力をいただき、平成版仮面ライダーを手掛ける制作スタッフとキャストによる実写版「シージェッター海斗 特別編」を制作し、3月23日より石巻萬画館で限定上映を行っている。この作品を観るために全国からたくさんのお客様が石巻を訪れている。

#### (4) マンガビジネス

- ・震災時の様子や復旧復興活動の様子、さらに石巻のマンガの活動等をパッケージ化して巡回パネル展を行った。平成 24 年度は仙台縁日（仙台市）、みちのく湖畔公園（川崎町）といった宮城県内はもとより、東急ハンズ名古屋店、北九州市漫画ミュージアム、大阪りんくうタウン等、全国各地で開催した。
- ・地元企業や地場産品とコラボしたマンガキャラクター商品の開発を推進した。平成 24 年度は、結核予防会宮城支部「オリジナルクリアファイル」、木の屋石巻水産「サイボーグ 009 くじら大和煮缶詰」の商品化を行った。

### 【街づくり事業部】

#### (1) コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会

- ・事務所を中央二丁目ボックスピアホシノ 2 階に常設し、東北大学、(社) 未来サポート石巻から人的支援を得て運営を行っている。
- ・「街並み部会」「事業推進部会」「ライフスタイルブランド化部会」の各部会の活動推進と行政・民間組織間の調整を図り、石巻市中心市街地の安全安心・魅力創出に努めた。
- ・街並み部会では、平成 23 年度に作成した「街並みデザインコード」の周知活動とソフト策の取り組みをまとめた「街なか復興ビジョン」の作成を行った。このビジョンをもとに新たに策定する「石巻市中心市街地活性化基本計画」への反映を図っていく。
- ・事業推進部会では、市街地再開発事業を検討している地区の進捗状況の把握、地区間の情報共有、行政機関への働きかけを行った。6 月から 11 月までは(社) 再開発コーディネーター協会の支援を得て、各地区の事業推進に向けた相談、市役所担当部署との情報共有を行った。
- ・ライフスタイルブランド化部会では、災害ボランティアの I ターン・U ターンを促進する「プチ市民構想」の推進を図った。8 月には災害ボランティア団体、市民団体、報道関係者、行政関係者等と協同で「市民大座談会」を開催。新たな担い手によるまちづくりの可能性について意見交換を行い、「巻.com プロジェクト」の立ち上げ、事業化支援を行うに至った。
- ・協議会として、広く中心市街地の復興まちづくりの状況について発信することを目的に、7 月に「街なか復興推進大会」、平成 25 年 3 月に「街なか再生まちづくり講演会」を開催した。さらに、まちづくりの先進事例について学ぶことを目的として 3 月に「中心市街地復興まちづくり勉強会」を開催した。

## (2) 石巻まちなか復興マルシェ

- ・震災により被災した商店や企業等の復興及び石巻中心市街地の賑わい創出を目的として、北上川河畔(丸光跡地)に中小企業基盤整備機構様の支援を得て平成 24 年 6 月 9 日にオープンさせた。
- ・運営にあたり「石巻まちなか復興マルシェ運営協議会」を設立。全体の管理を当社が担当し、石巻しみん市場、石巻うまいもん屋、珈琲工房いしかわ、石巻ぎょうぎ道場、石巻元気復興センター、全日食きむらの各出店者と協同で運営を行っている。
- ・オープンから平成 25 年 3 月 31 日までの受入団体数(予約のみ)は 335 団体 10,746 名で、被災地視察ツアー、ボランティア活動で訪れる団体が多かった。
- ・マスコミ、メディア等に積極的に働きかけ、全国ネット報道番組のサテライトスタジオになる等、相当数の報道機関やメディアに取り上げられ全国的にも注目を集めている。
- ・毎月第三日曜日に開催する「手づくり市 n o m a k i」等、地元団体等と連携して定期的にイベントを開催。また外部からの支援団体等のイベント会場として活用してもらうことで集客を図り中心市街地の賑わい創出に繋げた。
- ・萬画館や商店街と連携したイベントも多数開催し、中心市街地活性化に向けた波及効果を創出した。

## (3) 第 12 回 石巻マンガ灯ろう祭り (7 月 31 日開催)

- ・萬画館が開館した平成 13 年より欠かさず開催してきた「マンガ灯ろう祭り」だったが、震災の影響によって会場となる中瀬公園が使用できないことから、本年度も石巻川開き祭り前夜祭との共同イベントとして 7 月 31 日に開催した。
- ・マンガ灯ろうの募集にあたっては、例年のように市内全域の小学校・幼稚園・保育所への呼びかけはできなかったものの、市街地周辺の学校やボランティアの方々にも参加いただき約 1,500 個ものマンガ灯ろうが寄せられた。

## (4) 第 9 回トリコローレ音楽祭 in 石巻 (8 月 26 日開催)

- ・石巻駅前にぎわい交流広場をメイン会場として、全 9 会場、総勢約 570 名が参加して開催された。中心市街地は一日中音楽に包まれ素敵な音楽祭となった。
- ・有名アーティストの山根康広氏を招いてのフィナーレでは復興を願って会場が一つとなり、大いに盛り上がった。

## (5) 共に・前へ・元気ががんばる商店街まつり (11 月 17~18 日開催)

- ・石ノ森萬画館の ReOPEN に合わせて、立町大通り、アイトピア、ことぶき町、寿町みなみ通り、橋通り、市役所大通りの 6 商店街と連携し、中心商店街主導によるイベントを開催した。
- ・市街地全域で統一したのぼりを制作して萬画館と各街区へ設置した他、ジャンボのり巻き、さんまの配布等のイベントに加え、商店街 6 街区に設置したサイボーグ 009 のスタンプを 9 つ全てを集めると特製の非売品 009 のステッカーをプレゼントする等の工夫を凝らし、石巻市街地へ訪れた方々の回遊性の向上に一役かった。

## ■総務部

### (1) まんぼう会員事業

- ・震災前のまんぼう会員加盟店は 60 店舗（事業所）だったが、震災後は 45 店舗に減少した。
- ・震災以降は事業を一時休止し、体制を整えてから再開することとしている。

### (2) 駐車券販売事業

- ・現在、市内共通駐車券が利用可能な駐車場は 10 か所（※震災前は 28 か所）
- ・震災前は平均で約 40,000 枚／年の販売があったが、平成 24 年度は 29,280 枚だった。

### (3) 観光 PR キャラクター活用事業（いしびょんず管理運営）

- ・緊急雇用創出事業として石巻市より受託し、3 名を雇用した。
- ・市内の幼稚園訪問や各種イベントに参加し、子供たちに喜んでもらいながら会場を盛り上げた。さらに「B-1 グランプリ in 北九州」をはじめ、全国で開催されたイベントにも積極的に参加し、支援をいただいた方々へ感謝の気持ちを伝えるとともに石巻の PR 活動を行った。平成 24 年度の出演日数は、のべ 70 日だった。
- ・いしびょんずのテーマソングを作成。またブログやツイッターを通して石巻の情報を全国へ発信した。

### (4) 震災復興マンガ「マンガッタン」の発行

- ・マンガを活用した復興への取り組みの一つとして、マンガで「震災の記憶を残し伝えていく」「被災者やボランティア等、被災地の渦中にいる人たちに希望を与える」ことをテーマとしたマンガ本を発行。平成 24 年度は第 1 弾として「マンガッタン Vol.0」と「マンガッタン Vol.1」を発行した。
- ・漫画家の先生方やアーティストの方々の協力をいただきながら、年に 3~4 回のペースで発行することとしている。

### (5) 義援金収入について

- ・平成 24 年度は 22,492,299 円の義援金収入があった。
- ・萬画館復興支援金として預かった 12,931,782 円は全額石巻市へ寄付をした。
- ・街づくり義援金として預かった 9,560,517 円は、コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会及び石巻まちなか復興マルシェの人件費及び運営諸費、市街地賑わい創出を目的としたイベント費等に活用した。

## 【石ノ森萬画館運営事業部】

- ・震災以降、石ノ森萬画館は休館を余儀なくされていたが、平成24年4月より「石ノ森萬画館施設維持管理業務」、7月より「石ノ森萬画館開設準備業務」を石巻市と締結し、萬画館再開へ向けての準備を行った。
- ・萬画館の再開にあたり避難経路及び誘導方法の確認、食料や資材の備蓄等、防災管理の徹底を図った。
- ・平成24年11月17日、震災から約1年8か月振りに念願のリ・オープンを迎えた。
- ・2月12日から3月22日まで常設展示リニューアルのため一時休館した。
- ・3月23日にあらためてリニューアルオープンを迎え、完全復活を果たすことができた。
- ・リニューアルオープンから3月31日までの9日間の総入館者数は19,539人で、11月17日から3月31日までで総入館者数69,000人、有料観覧者数30,376人だった。

### (1) イベント等

#### ①GW特別企画「萬画館探検隊」(5月4～5日開催)

萬画館が修繕工事に入る前に、被災状況や被害の大きさを知っていただこうと考え、まだ通電もしていない館内を懐中電灯で照らしながら案内をするという催事を行った。

2日間で定員を超える289名の方々に参加いただき、支援に対しての感謝の気持ちを伝えた。参加者からは温かい激励をいただいた。

#### ②萬画の国・いしのまき 復活祭(7月22日開催)

未だ休館中ではあったが萬画館の開館記念日を記念し、石巻まちなか復興マルシェを会場に開催した。震災によりキャラクターモニュメント2体が流失してしまったが支援によって復活。この日からマンガロードスタンプラリーが再開した。

#### ③野外スペシャル上映会「劇場版 仮面ライダー電王 俺、参上」(8月11日開催)

夏休みの特別企画として、川向かいの復興マルシェから萬画館に投影しての映画鑑賞会を開催。TOTO様の協賛により実現した。当日は家族連れを中心に500人を超える方々が集まり、心地よい川風を浴びながら映画を楽しんだ。

#### ④アニぱら音楽館 EXTREME LIVE in 石巻(10月20日開催)

石ノ森萬画館の再開を盛り上げようと、アニメや特撮ソングをライブ感覚で楽しめる人気音楽番組「アニぱら音楽館」の公開収録ライブを開催。キッズステーション様に協賛いただき、賛同したアーティストの協力によって実現した。会場の中瀬公園には全国各地から約1,500人もの方々が参加し、萬画館の再開に大きな弾みとなった。

[参加アーティスト]

水木一郎、影山ヒロノブ、遠藤正明、YOFFY、きただにひろし、石川智晶、Gero、高取ヒデアキ、高橋秀幸

### ⑤石ノ森萬画館 ReOPEN記念イベント (11月17~18日開催)

震災から約1年8か月振りに念願の石ノ森萬画館が再開を迎えた。セレモニーには石巻市長をはじめ、石森プロ様、マンガジャパン様といった多数の来賓の皆様にご参列いただいた。さらに歴代仮面ライダーやロボコンなどの石ノ森キャラクターたちもお祝いに駆けつけ会場を沸かせた。翌日の18日には人気アニメソング歌手の遠藤正明、きただにひろしによるアニソンライブやシージェッター海斗ショー等を行い再開にイベントに華をそえた。11月17日、18日の二日間で7,434人の来場があった。

### ⑥石ノ森萬画館 リニューアルオープン記念イベント (3月23~24日開催)

2月12日から3月22日まで常設展示リニューアル工事を行い、3月23日に晴れてリニューアルオープンを迎えた。くす玉開花の後に入館開始となり、来館者は大幅にリニューアルされた展示を存分に楽しんだ。23日は藤岡弘、トークショーや水木一郎ライブ、24日は遠藤正明ライブや海斗ショーで会場は大いに盛り上がった。

また23日はJR石巻駅で「石巻線マンガタンライナー出発式」も行われ、「萬画の国・いしのまき」の記念すべき日となった。3月23日、24日の二日間で6,987人の来場があった。

### ⑦ガチャピン・ムックのみんな集まれ石巻! (3月31日開催)

フジテレビキッズ様の協力によって、石ノ森萬画館リニューアルオープンのお祝いにガチャピンとムックが登場。中瀬公園でのステージイベントの他、中心商店街のお店のお手伝いや商店街を練り歩くなど、街中の賑わい創出にも一役かってくれた。

## (2) 展示活動

### ①第48回特別企画展「メディアの力、マンガの力」展

(会期：平成24年11月17日~平成25年2月11日)

石巻日日新聞社、三陸河北新報社、ラジオ石巻の地元メディアの協力のもと開催。被災を契機に石巻のマンガの活動を振り返り、そして震災から復興に向けての様々な取り組みやマンガの可能性についての展示を行った。

### ②第49回特別企画展「シージェッター海斗」展

(会期：平成25年3月23日~6月30日)

石ノ森章太郎が生んだ石巻のヒーロー「シージェッター海斗」の初めての企画展。海斗の誕生エピソードから現在までの海斗プロジェクトの取り組みを「ショー」「マンガ」「テーマソング」「グッズ」「実写」といったカテゴリー別に紹介した。

### (3) 普及育成活動

#### ①ワークショップ（一般）

ワークショップ名	講師	対象	開催日	参加人数
新春凧揚げ	萬画館スタッフ	小学生～一般	1月1日 ～2日	両日ともに 約100名

#### ②オープンワークショップ

気軽にマンガにふれあっていただくことを目的とした簡単な創作体験教室。  
毎週土曜日に開催。平成24年度は9回開催し、のべ258名の方が参加。

#### ③マンガタンイラストギャラリー

年4回、季節毎にテーマを設けてイラスト作品を公募し、各回大賞と優秀賞を選出する。  
震災後は開催を見合わせていたが、平成24年12月から再開し26作品の応募があった。

### 3 業務及び財産の状況 (平成25年3月31日現在 単位:円)

区分	第13期
純売上高	230,512,920
税引前当期純利益	18,164,811
当期純利益	13,300,611
総資産	128,209,998



## II 会社の概況 (平成25年3月31日現在)

### 1 主要な事業所

本 社 / 〒986-0823 宮城県石巻市中瀬2番7号

### 2 従業員の状況

区分	男	女	計	平均年齢	平均勤続年数
正社員	2名	1名	3名	41.7歳	11年2か月
契約社員	1名	15名	16名	34.5歳	3年5か月
合 計	3名	16名	19名	37.0歳	4年8か月

※平成24年4月4日現在、正社員3名、契約社員8名が在籍。

### 3 株式の状況

- ① 普通株式(5万円額面) 1,200株
- ② 発行済株式総数 1,200株
- ③ 株式及び株主の分布

区 分	株 主 数	所有株式数
石 巻 市	1 (1.6%)	600株(50.0%)
団 体	4 (6.2%)	28株(2.3%)
金融法人	2 (3.1%)	30株(2.5%)
一般法人	25 (39.1%)	88株(7.3%)
個 人	31 (48.4%)	87株(7.3%)
自 社 株	1 (1.6%)	367株(30.6%)
合 計	64 (100.0%)	1,200株(100.0%)

#### ④ 大株主の状況(上位3名)

株 主 名	当社への出資状況 持ち株数(出資比率)
石 巻 市	600株(50.0%)
石巻商工会議所	20株(1.7%)
石巻信用金庫	20株(1.7%)

#### 4 取締役及び監査役

役 職	氏 名
代表取締役社長	西 條 允 敏
代表取締役副社長	尾 形 和 昭
取 締 役	松 本 俊 彦
取 締 役	浅 野 仁 一 郎
取 締 役	阿 部 紀 代 子
取 締 役	阿 部 久 利
取 締 役	梅 雅 弘
取 締 役	亀 山 真 一
取 締 役	後 藤 宗 徳
取 締 役	榑 顯 雄
取 締 役	松 本 鉄 幹
取 締 役	三 浦 英 明
監 査 役	浅 野 亨

以上 取締役 12 名、監査役 1 名

## 貸借対照表

平成 25 年 3 月 31 日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流動資産】	【 125,929,306 】	【流動負債】	【 72,538,371 】
現金及び預金	85,432,780	買掛金	21,036,191
売掛金	13,741,608	未払金	41,598,685
商品	18,592,434	未払費用	1,521,498
貯蔵品	74,220	未払消費税等	2,011,100
前払費用	45,000	未払法人税等	4,715,600
立替金	16,140	前受金	9,000
未収入金	8,027,124	預り金	1,646,297
【固定資産】	【 2,280,692 】		
(有形固定資産)	( 2,149,692 )	負債の部合計	72,538,371
建物	1	純資産の部	
建物附属設備	2	【株主資本】	【 55,671,627 】
構築物	1	(資本金)	( 60,000,000 )
車両運搬具	100,000	資本金	60,000,000
工具器具備品	1,913,188	(利益剰余金)	( 14,021,627 )
一括償却資産	136,500	繰越利益剰余金	14,021,627
(無形固定資産)	( 20,000 )	(自己株式)	( -18,350,000 )
電話加入権	20,000	自己株式	-18,350,000
(投資その他の資産)	( 111,000 )		
出資金	15,000	純資産の部合計	55,671,627
敷金	45,000	負債及び純資産の部合計	128,209,998
保証金	50,000		
預け金	1,000		
資産の部合計	128,209,998		

## 損益計算書

自平成24年4月1日  
至平成25年3月31日

科 目	金 額	円
【純売上高】		
収益部門収入高	79,830,865	
街づくり部門収入高	18,796,640	
総務・企画部門収入高	65,613,454	
入場料収入高	23,872,860	
プリペイドカード返金	-258,399	
指定管理料収入高	42,657,500	230,512,920
【売上原価】		
期首商品棚卸高	5,379,418	
収益部門仕入高	66,191,678	
街づくり部門仕入高	6,433,126	
総務・企画部門仕入高	6,028,637	
当期萬画館運営費用 (内、萬画館運営部人件費)	65,860,149	
合 計	( 149,893,008 )	
期末商品棚卸高	18,592,434	131,300,574
売上総利益		( 99,212,346 )
【販売費及び一般管理費】		96,803,106
営業利益		( 2,409,240 )
【営業外収益】		
受取利息	13,071	
受取配当金	100	
補助金収入	2,816,040	
雑収入	3,955,130	
助成金収入	23,920	6,808,261
【営業外費用】		
雑損失	4,760	4,760
経常利益		( 9,212,741 )
【特別利益】		
義援金収入	22,492,299	
固定資産受贈益	600,000	23,092,299
【特別損失】		
補助金返還損失	324,150	
義援金寄付金	12,931,782	
固定資産圧縮損	884,297	14,140,229
税引前当期純利益		( 18,164,811 )
法人税住民税及事業税		4,864,200
当期純利益		( 13,300,611 )

まんぼう事業部販売費一般管理費

自 平成 24 年 4 月 1 日  
至 平成 25 年 3 月 31 日

科 目		金 額	円
役員報酬	手当	2,160,000	
雑給		19,723,746	
法定福利費		1,116,290	
福利厚生費		3,082,790	
消耗品費		492,003	
事務用品費		8,328,005	
地代家賃		840,051	
賃借料		2,585,709	
保険料		93,975	
修繕費		573,630	
租税公課		1,348,778	
減価償却費		822,030	
旅費交通費		915,953	
通信用料		1,919,085	
水道光熱費		756,472	
支払手数料		1,629,045	
運賃		1,282,977	
広告費		512,670	
接待費		20,947,832	
新聞費		1,389,898	
新車関係費		4,704	
会議費		495,756	
諸商開費		424,775	
販促費		147,200	
商品開費		22,750	
販売促進費		139,374	
寄付金		4,741,185	
工事料		180,815	
委託料		19,891,551	
イベント経費		120,532	
雑費		113,525	
合 計			( 96,803,106 )

## 萬画館運営費用内訳

自 平成 24 年 4 月 1 日  
至 平成 25 年 3 月 31 日

科 目	金 額	円
【 労 務 費 】		
給 与	18,873,085	
雑 給	780,300	
法 定 福 利 費	2,697,557	
福 利 厚 生 費	281,404	22,632,346
【 運 営 経 費 】		
光 熱 水 費	4,969,449	
施設維持管理等委託料	3,827,504	
使用料及び賃貸料	2,319,515	
旅 費	1,131,780	
接 待 交 際 費 等	471,779	
会 議 費	36,558	
消 耗 品 費	8,035,454	
車 両 関 係 費	570,671	
印 刷 製 本 費	6,445,826	
寄 付 金	1,469,425	
修 繕 費	4,056,255	
租 税 公 課	1,399,001	
通 信 運 搬 費	1,222,771	
広 告 料	1,409,034	
任 意 保 険 料	123,280	
委 託 費	2,420,450	
民間駐車場使用料	19,558	
会 費	60,812	
支 払 手 数 料	214,934	
減 価 償 却 費	33,600	
企 画 展 費	2,970,147	
雑 費	20,000	43,227,803
総 運 営 費 用		( 65,860,149 )
当 期 萬 画 館 運 営 費 用		( 65,860,149 )

## 株主資本等変動計算書

自平成24年4月1日至平成25年3月31日 単位 円

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	60,000,000	721,016	721,016	-18,350,000	42,371,016	42,371,016
当期変動額						
当期純損益金		13,300,611	13,300,611		13,300,611	13,300,611
当期変動額合計		13,300,611	13,300,611		13,300,611	13,300,611
当期末残高	60,000,000	14,021,627	14,021,627	-18,350,000	55,671,627	55,671,627

個 別 注 記 表

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法に基づく低価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定率法

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 988,490 円

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の数 1,200 株

2. 当該事業年度末日における自己株式の数 367 株



# キャッシュ・フロー計算書

自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日

I	営業活動によるキャッシュ・フロー	
	税引前当期純利益	18,164,811
	減価償却費	949,553
	受取利息及び受取配当金	▲ 13,171
	売上債権の増加額	▲ 10,325,908
	棚卸資産の増加額	▲ 13,099,939
	仕入債務の増加額	17,169,918
	その他流動資産の増加額	▲ 61,140
	その他流動負債の増加額	29,591,342
	小 計	42,375,466
	利息及び配当金の受取額	13,171
	法人税等の支払額	▲ 631,000
	営業活動によるキャッシュ・フロー	41,757,637
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	▲ 1,920,178
	その他の投資支出	▲ 105,000
	投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,025,178
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	財務活動によるキャッシュ・フロー	0
IV	現金及び現金同等物に係る換算差額	0
V	現金及び現金同等物の増加額	39,732,459
VI	現金及び現金同等物の期首残高	45,700,321
VII	現金及び現金同等物の期末残高	85,432,780

# 合計残高試算表〔貸借対照表〕

自 平成24年 4月 1日 至 決算整理月31日

【全社合計】

【税込】

第13期24年度（決算確定） まんぼう5/29繰越

平成25年 9月13日

コード	勘定科目名	期首残高	借方	貸方	残高	構成比
100	現金	419,089	40,575,113	37,447,120	3,547,082	2.8
101	萬画館小口現金	98,522	6,751,147	3,232,586	3,617,083	2.8
102	まんぼう小口現金	2,616,799	11,641,678	10,404,157	3,854,320	3.0
103	萬画館売上現金	0	23,398,910	20,596,192	2,802,718	2.2
104	萬画館釣銭現金	0	2,565,000	1,700,000	865,000	0.7
105	BZ小口現金	0	540,000	512,069	27,931	0.0
108	AKT小口	330,013	0	330,013	0	0.0
	現金計	3,464,423	85,471,848	74,222,137	14,714,134	11.5
110	信金普通1(734)	618,519	450,035	100,210	968,344	0.8
111	商工普通1(収益)	4,037,119	175,757,433	153,796,368	25,998,184	20.3
112	商工普通2(萬画館)	7,449,826	74,851,519	62,241,757	20,059,588	15.6
113	七十七普通	83,817	9,247,543	9,249,996	81,364	0.1
119	商工普通3(938)	538	0	538	0	0.0
120	商工普通4(047)	663,336	8	663,336	8	0.0
121	商工普通5(通販)	1,374,932	1,058,775	1,493,449	940,258	0.7
122	商工普通6(055)	4,580,832	9,363,140	10,000,000	3,943,972	3.1
123	郵便貯金	980,333	13,170,585	13,573,541	577,377	0.5
127	定期預金	21,066,552	43,037,212	46,048,062	18,055,702	14.1
130	信金普通2(690)	1,380,094	10,423,346	11,752,653	50,787	0.0
131	信金普通3(700)	0	43,062	0	43,062	0.0
	預金計	42,235,898	337,402,658	308,919,910	70,718,646	55.2
	現金預金計	45,700,321	422,874,506	383,142,047	85,432,780	66.6
135	カード売掛金	107,450	2,629,499	2,197,165	539,784	0.4
136	萬画館売掛金	0	333,040	284,540	48,500	0.0
137	まんぼう売掛金	3,780,643	48,709,742	39,337,061	13,153,324	10.3
140	未収入金	7,554,731	8,399,559	7,927,166	8,027,124	6.3
	当座資産計	57,143,145	482,946,346	432,887,979	107,201,512	83.6
160	商品(収益)	5,379,418	136,502,467	123,289,451	18,592,434	14.5
166	貯蔵品	187,297	400,000	513,077	74,220	0.1
	棚卸資産計	5,566,715	136,902,467	123,802,528	18,666,654	14.6
171	前払費用	0	45,000	0	45,000	0.0
172	前払金	0	62,725	62,725	0	0.0
174	立替金	0	75,721	59,581	16,140	0.0
175	仮払金	0	5,313,453	5,313,453	0	0.0
	その他流動資産計	0	5,496,899	5,435,759	61,140	0.0
	流動資産計	62,709,860	625,345,712	562,126,266	125,929,306	98.2
200	建物	1	840,000	840,000	1	0.0
201	建物付属設備	2	699,050	699,050	2	0.0
202	構築物	1	1,659,085	1,659,085	1	0.0
204	車両運搬具	0	600,000	500,000	100,000	0.1
205	工具器具備品	1,179,063	5,601,724	4,867,599	1,913,188	1.5
219	一括償却資産	0	204,750	68,250	136,500	0.1
221	建設仮勘定	0	1,073,050	1,073,050	0	0.0
	有形固定資産計	1,179,067	10,677,659	9,707,034	2,149,692	1.7
241	電話加入権	20,000	0	0	20,000	0.0
	無形固定資産計	20,000	0	0	20,000	0.0
251	出資金	5,000	10,000	0	15,000	0.0
252	預け金	1,000	0	0	1,000	0.0
253	保証金	0	50,000	0	50,000	0.0
271	敷金	0	45,000	0	45,000	0.0
	投資その他の資産計	6,000	105,000	0	111,000	0.1

# 合計残高試算表〔貸借対照表〕

Page: 2

自 平成24年 4月 1日 至 決算整理月31日

【全社合計】

【税込】

第13期24年度(決算確定) まんぼう5/29繰越 平成25年 9月13日

コード	勘定科目名	期首残高	借方	貸方	残高	構成比
	固定資産計	1,205,067	10,782,659	9,707,034	2,280,692	1.8
	繰延資産計	0	0	0	0	0.0
	資産合計	63,914,927	636,128,371	571,833,300	128,209,998	100.0
310	買掛金	3,866,273	54,824,698	71,994,616	21,036,191	16.4
325	未払金	16,105,819	40,580,696	66,073,562	41,598,685	32.4
326	未払費用	434,391	4,754,089	5,841,196	1,521,498	1.2
330	前受金	0	4,361,136	4,370,136	9,000	0.0
335	仮受金	215,333	918,223	702,890	0	0.0
337	未払消費税等	0	0	2,011,100	2,011,100	1.6
340	源泉預り金	36,070	809,036	1,031,749	258,783	0.2
341	社保預り金	338,225	4,658,473	5,673,462	1,353,214	1.1
342	住民税預り金	65,400	467,700	436,600	34,300	0.0
345	未払法人税等	482,400	482,400	4,715,600	4,715,600	3.7
	流動負債計	21,543,911	111,856,451	162,850,911	72,538,371	56.6
	固定負債計	0	0	0	0	0.0
	引当金計	0	0	0	0	0.0
	負債合計	21,543,911	111,856,451	162,850,911	72,538,371	56.6
400	資本金	60,000,000	0	0	60,000,000	46.8
	その他資本剰余金計	0	0	0	0	0.0
	法定準備金計	0	0	0	0	0.0
	繰越利益剰余金	721,016	0	13,300,611	14,021,627	10.9
	その他利益剰余金計	721,016	0	13,300,611	14,021,627	10.9
	剰余金計	721,016	0	13,300,611	14,021,627	10.9
441	自己株式	-18,350,000	0	0	-18,350,000	-14.3
	株主資本計	42,371,016	0	13,300,611	55,671,627	43.4
	評価・換算差額等計	0	0	0	0	0.0
	純資産合計	42,371,016	0	13,300,611	55,671,627	43.4
	負債・純資産合計	63,914,927	111,856,451	176,151,522	128,209,998	100.0

## 第13期（平成24年度）営業方針

昨年の東日本大震災から一年と3ヶ月を越え、整理が進んでいるとはいえ、いまだに集められた瓦礫は山となり、また解体を待つ建物が多く残っている状況であります。そうした中、市民生活や経済活動もまた停滞し、先が見えない不安と失望感でいっぱいの方が、多くおられるのが現状であると考えられます。

(株)街づくりまんぼうとしては、その事業を通して、種々の課題の解決や希望の持てる街づくりに全力を尽くし、その実現に貢献をしていく所存であります。

### ・石ノ森萬画館の運営

現在、本年秋に開館予定で復旧工事が着手されたところです。再開館に際しては、より安全に十分な配慮を尽くすと共に、最高のもてなしの心を持ってサービスに努めていく所存であります。

萬画館の収益事業、発信事業として下記の事業を展開していきます。

- ・被災・復興の企画展やマンガ化を実施いたします。
- ・マンガデザインの商品やキャラクターの開発を行います。
- ・シージェッター海斗事業を推進していきます。
- ・物販の拡大を図っていきます。

### ・コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会の運営・推進

昨年12月20日に設立した協議会を中心に、現在、新しい石巻の中心市街地を作っていくため、三つの部会が検討と提案をし実行に移されております。今後はそれらのプロジェクトが実行に移される段階に移行してまいります。その時点での街づくり会社として果たすべき役割と体制を検討・実行していかなければならないと考えております。

事業推進部会では、それぞれの街区での動きと共に、動きの少ない所にも、専門のアドバイザーを派遣し相談に乗っていただく体制を取り実施しております。

街並み部会では、デザインコードがまとまってきており、今後その実施のための調整をし、周知をしていきます。

LSB部会では、「プチ市民」という発想から広義な意味での石巻市民を増やしていこうという運動を推進・サポートしていきます。

### ・観光産業や街なか事業推進

- ・復興マルシェの運営の安定化と効果の拡大を図っていきます。
- ・AKT46の事業継続により全国商店街との交流を進めていきます。
- ・生協やその他空き店舗の活用による街中の賑わい事業を推進します。
- ・被災地観光・研修の受け入れ態勢の確立。